

みちのく森の楽校だより

この「里山地区」には、薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡も残っています。

みちのく公園ではこの「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



タテツボスミレ



リュウキンカ

2019年 **4月号**

4月24日(土) 晴れ

今日は木こい体験!

平成25年度から開講した「森の楽校」は、今年で7年目。1年を通して、遊んで、学んで、楽しんで、いろいろな里山体験します。1年を通すことで、里山の季節の変化を感じることができますよ!

野草を摘みました

春の里山は食べられる野草がいっぱい! 森の楽校では、里山丸ごと体験を目指して、「食」も大切にしています。まずは、ヨモギ、フキなど、身近な野草を摘んで、天ぷらにしました。里山の楽しみ方はいろいろあるのです。



伐倒体験!

森の楽校ならではの活動は、何ととっても木を切ること! 他ではなかなかできません! 1本のスギの木をみんなで力を合わせて、手ノコで切りました!



スギの皮むき

切ったスギの木をみんなで運んで、皮むきをしました。春のスギは水分を多く含んでいて、皮がむきやすいのです。次回の活動の材料にします。



里山冒険遊び!

やっぱり子供は遊びたい! ということで、手作り遊具の冒険遊び。竹のジェットコースターはスピードが出ます。ハイジのブランコは乙女に人気。



次回、第2回「森の楽校」は5月26日(土)、タケノコ掘りをします。